

令和3年度9月補正（追加）予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	「京の米」流通促進緊急対策事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	100,000千円	国庫	繰入金	その他	一般財源
		100,000	—	—	—
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 外食需要の長期低迷により、全国的に米価が下落する中、府内産の米価も下落し、米生産の継続が困難な状況となっていることから、販路開拓や販路先確保の取組等について幅広い稲作農家を緊急的に支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 生産者による販路開拓等支援事業 85,000千円 直販等に取り組む稲作農家を実施する販路開拓や販路確保の取組を支援</p> <p>(2) 流通事業者による販売先確保支援事業 10,000千円 小規模な稲作農家に代わり、流通事業者が実施する販路開拓の取組を支援</p> <p>(3) 京都産米販売促進事業 5,000千円 府内産の新米フェア等を実施し、京都産米の需要喚起を図る。</p>				
担当課・係名	農 産 課	京の米・豆・保険係	電話番号	075-414-4953	

コロナ禍による米価下落の影響の改善を求める意見書

主食用米の需要量が年々減少している中、長期化するコロナウイルス感染症の影響が加わり、全国の民間在庫量が 219 万 t（令和 3 年 6 月末現在）まで増加し、適正在庫量と言われる 180～200 万 t を大きく上っているところである。

2 年産米が在庫過剰の状況にあり、さらに、コロナ禍による今後の需要動向が見通せないことなどから、3 年産米の価格は、全国的に大幅下落（2,000 円～4,000 円/60kg 程度）し、それに伴い府内集荷団体の買い取り金額も対前年比で 2 割程度（3,000 円/60kg）低下している状況である。

については、国におかれては、来年以降も米の生産が継続されることにより、水田農業と農村地域が維持されるよう、次の事項について実現するよう強く要望する。

- 1 2 年産米に加え、3 年産米も過剰在庫が生じないよう、農業者や集荷・販売業者が行う販売先の確保や販路開拓の取組に支援すること。
- 2 加工用米や麦・豆類の生産に対し、主食用米と同等の収入が得られるよう、産地交付金などの財源を確保するとともに、京野菜や酒米などの高収益作物への転換に必要な機械・施設の整備に対し支援すること。
- 3 人口減少や米離れにより主食用米の需要が減少する中、おいしさや健康面での効果などのお米の魅力発信や和食文化の推進など、米の消費拡大を図るためのより一層積極的な対策を行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 3 年 10 月 日

衆議院議長	大 島 理 森	殿
参議院議長	山 東 昭 子	殿
内閣総理大臣	岸 田 文 雄	殿
財務大臣	鈴 木 俊 一	殿
総務大臣	金 子 恭 之	殿
農林水産大臣	金 子 原 二 郎	殿
内閣官房長官	松 野 博 一	殿

京都府議会議長 菅 谷 寛 志